

鹿児島市制125周年・

新生鹿児島市10周年

本市は今年4月1日に市制125周年、今月1日に吉田町、桜島町、喜入町、松元町、郡山町との合併から10周年を迎えました。そこで、これまでの本市のあゆみや未来へつながる市民の皆さんの思いをクイズやインタビューを交えてご紹介します。



「市制125周年・
新生鹿児島市10周年を迎えて」

鹿児島市長 森 博幸

鹿児島市は本年、明治22年の市制施行から125周年、平成16年の合併により新生鹿児島市が誕生してから10周年という節目を迎えました。

日本で最初の市の一つとして人口約5万8千人で誕生した本市は、桜島の大正噴火や第二次世界大戦、8・6水害など幾多の困難を乗り越え、今や60万人を超える南九州の中核都市として大きく発展しています。

また、合併から10年の時を経て、新市まちづくり計画の推進や市民相互の交流などの取り組みにより、市域全体の一体化と各地域の特性や資源を生かした魅力づくりが進んでいます。

昨今の我が国の状況は、少子高齢化の進行や人口減少局面への移行に加え、国境を越えた人やモノ、文化、情報などの移動の活発化など、時代の大きな転換期を迎えています。本市においては、これらの課題解決の鍵となる「環境」、「子育て」、「教育」、「健康」、「経済」、「観光」、「協働」の7つの重点施策を中心に取り組んでおり、本市の魅力や特性を国内外に積極的に発信しながら都市の活力を高めるとともに、市民が安心して安全に暮らせるまちづくりを推進しています。

市制の節目にあたり、私は、市制施行から125年の長い年月の間、本市発展の礎を築いてこられた先人たちの英知と努力に感謝しつつ、これまでのあゆみを振り返り、未来への飛躍を展望しながら、市政をもっと前へ進める決意を新たにしております。

そのためにも、ふるさと鹿児島を愛する市民の皆さまの情熱や知恵、行動力を結集し、共に考え、共に行動しながら、「人・まち・みどり みんなで創る、豊かさ実感都市・かごしま」の実現に向け、力強くまい進してまいります。

鹿児島市のあゆみ ※12面・13面も合わせてご覧ください

明治22年	市制施行
34年	第七高等学校造士館開設
34年	鹿児島駅(現・JR鹿児島駅)開業
大正元年	武之橋―谷山間に初の路面電車が走る
2年	武駅(現・JR鹿児島中央駅)開業
3年	桜島大正噴火
5年	鴨池動物園開園
昭和12年	市役所新庁舎(現・本館)が山下町に完成
20年～	終戦・戦後復興へ
24年	第1回おはら祭開催
32年	鹿児島空港が鴨池に開港
42年	谷山市と合併
47年	第27回国民体育大会「太陽国体」開催
55年	人口50万人突破
59年	オーストラリアからコアラが来鹿
平成元年	市制100周年
5年	8・6水害
8年	中核市移行
9年	いおワールドかごしま水族館開館
16年	新生鹿児島市誕生(鹿児島市、吉田町、桜島町、喜入町、松元町、郡山町が合併)
20年	かごしま環境未来館開館
20年	コミュニティバス「あいばす」運行開始
22年	すこやか子育て交流館(りぼんかん)開館
23年	九州新幹線全線開業
24年	市電軌道敷緑化完了
24年	観光農業公園(グリーンファーム)開園
25年	桜島・錦江湾エリアが日本ジオパークに認定
25年	「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」が世界文化遺産の国内推薦案件に決定
26年	鹿児島市制125周年・新生鹿児島市10周年



明治22年市役所開庁
(「鹿児島市史」より転載)



谷山電停の第1号電車
(「鹿児島の路面電車50年」より転載)



昭和10年ごろの鴨池動物園
(「鹿児島の路面電車50年」より転載)



昭和32年のおはら祭パレード



市制100周年記念事業
サザンピア21



8・6水害
(流失した武之橋)



平成16年の新生鹿児島市
合併記念式典



九州新幹線全線開業



「桜島・錦江湾ジオパーク」
誕生



明治日本の産業革命遺産